

第44期通常総代会

広報担当常務理事 笹川 義晴

新潟県税理士協同組合第44期通常総代会は、6月22日、ホテルオークラ新潟において開催された。

総代会は、開会の言葉で始まり、物故組合員12名に対し黙祷を捧げ、その後来賓紹介があり、次いで五十嵐理事長のあいさつが行われた。

五十嵐理事長からは「昨年の理事長就任時に掲げた、5つの重点施策のうち特に緊急を要する定款改定に伴う補助税理士及び社員税理士の賛助会員へのスムーズな移行、及び収入のウェイトの高い新潟県税協のコア事業である全税共・大同生命の収納保険料の伸展を最重点施策として役員一丸となって取組み、会議については書面決議を採用し、時間を有効に活用するように努めてまいりました。また、事業改善委員会の答申に基づき、13地域の地域長が支部例会で組合員等に組合事業の情報提供について統一



的説明ができます様、その内容について事前に発信する等取り組んだ」旨の挨拶が行われ、当期の組合事業の概況報告の中で、「収入面では全体で約400万円の増収で、特に全税共事業収入が前期比プラス250万円、教育情報収入がプラス200万円と増収に寄与しました。但し税引前当期利益は669万円と前期より40万円の減益となりました。その要因は平成21年度の全税共第24回キャンペーンの入賞者数の大幅増加に伴う表彰費用が当期に発生し、全税共費用が当期より約180万円増加したことが大きな要因です

が、収入への貢献は翌期になります。」と説明し、「今期の業務を滞りなく遂行することができたのは、偏に組合員皆様からのご支援・ご協力の賜物であります。」と語り、参加者各位に対しお礼を述べた。

続いて、定足数の報告があり総代会成立宣言があった後、議長選出が諮られ、議長に石附靖平総代が就任し、議事に入った。

第1号議案 第44期事業報告及び財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分（案）の承認を求める件

第2号議案 組合賦課金に関する件

第3号議案 役員報酬に関する件

第4号議案 第45期事業計画及び収支予算書（見積損益計算書）（案）の議決を求める件

第5号議案 借入金最高限度額の議決を求める件



第6号議案 組合員に対する貸付金最高限度額の議決を求める件

以上、各議案とも執行部から提案理由の説明の後採決され、それぞれ賛成多数で承認可決された。

来賓の祝辞は、関税協・藤沼理事長と税理士会県連・高橋会長から、五十嵐理事長のリーダーシップのもと素晴らしい業績を挙げられた事への賛辞や、大原の土地問題の進展、税理士会共催事業に対する支援への感謝等それぞれの立場からのお話をいただいた。

休憩の後、生保、関連企業の幹部多数をお迎えして、懇親会が開かれた。

来賓の(株)日税ビジネスサービス・富澤博史
常務執行役員より祝辞をいただき、朝日生命・

吉田茂新潟支社長の乾杯で祝宴となり、来賓、組合員の歓談が続く中で、有意義な全日程が終了した。

第44期貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	44,441	I 流動負債	8,084
		II 固定負債	2,340
II 固定資産		負債の部計	10,424
1. 有形固定資産	68,010	I 出資金	26,180
2. 無形固定資産	208	II 資本準備金	5
3. 外部出資その他の資産	8,102	III 利益剰余金	84,154
固定資産計	76,322	1. 利益準備金	28,725
		2. 特別積立金	42,740
		3. 当期末処分剰余金	12,689
		(当期純利益金額)	(5,190)
		純資産の部 合計	110,339
合計	120,763	合計	120,763

第44期損益計算書

自 平成21年4月1日

至 平成22年3月31日

(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
I 事業費用		I 事業収益	
1. 購販事業費用	5,260	1. 購販事業収益	12,488
2. 福利厚生事業費用	8,124	2. 福利厚生事業収益	21,978
3. 全税共事業費用	11,516	3. 全税共事業収益	34,879
4. 信用事業費用	0	4. 信用事業収益	120
5. 教育情報事業費用	13,995	5. 教育情報事業収益	8,502
6. 地域事業費用	5,631	6. その他事業収益	11,220
事業費用計	44,531	事業収益計	89,190
II 一般管理費	38,313	II 事業外収益	347
税引前当期純利益金額	(6,693)		
法人税等	1,502		
当期純利益金額	5,190		
合計	89,537	合計	89,537

剰余金処分

自 平成21年4月1日

至 平成22年3月31日

(単位：千円)

I. 当期末処分剰余金		
当期純利益金額	5,190	
前期繰越剰余金	7,498	12,689
II. 組合積立金取崩額		2,545
III. 剰余金処分額		
特別積立金	3,500	
教育情報費用繰越金	2,000	
本会ゴルフ大会準備金	500	6,000
IV. 次期繰越剰余金		9,234

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

第25回記念全国統一キャンペーン 新潟県業務推進会議の報告

全税共担当常務理事 角谷 潔

今年も県税協の一大事業である「全国統一キャンペーン」が9月1日から11月30日まで行われます。今年はこのキャンペーンが始まって25年目に当たるため「第25回記念」と冠して行われます。このための業務推進会議が平成22年8月7日新潟チサンホテルにて行われました。酷暑の中にもかかわらず、県下各地から理事、地域長、業務推進委員、監事及び顧問45名、一方提携生命保険会社からは支社長はじめ14社24名が出席して盛大に開催されました。

冒頭五十嵐理事長は「銅賞以上の入賞者数は、平成16年の中越地震の時の66名の翌年から5年連続して増加して前期は156名となりました。提携生命保険会社をはじめ関係各位に感謝申し上げます。今年も25回記念キャンペーンに向けしっかり取り組んで行きたい。」と述べました。引き続き担当常務理事より今年の表彰基準及び表彰内容、賞品の額が発表されました。ちなみに前述の銅賞以上になるためには、キャンペーン期間中の保険料（P）が7万円以上または保険金額（S）が1億円以上となります。前期は該当が156名でした。

次に各地域長より各地域毎の業務推進会議の予定日、会場及び概要等の案内がありました。県税協としては各地域において、その地域の組合員・賛助会員と保険会社の機関長等幹部・営業職員等との交流を目的とする業務推進会議を予定しております。県税協は地域活動費として各地域毎に予算付けしております。

提携保険会社各社からはキャンペーンに取り組む推進方針の表明がなされました。去年より入賞者数を増やしたい、去年1ケタを2ケタにしたい、記念の25回にちなんで25人としたい等で、これを合計すると245名にもなりました。担当常務理事として大変ありがたいことと思います。

最後に関税協吉田副理事長、古川県連副会長の来賓挨拶、幹事会社朝日生命上田本社部長、年金の幹事会社第一生命寺本本社部長の保険会社代表挨拶で熱気の内を終了しました。

県税協では「保険紹介カード」を作成いたしました。成約の場合には8,000円、成約に至らなくても5,000円のプリペイドカードを贈呈いたします。

関東信越地区会業務推進会議

副理事長 西片 多門

関東信越地区会業務推進会議が7月8日ラフォーレ清水園にて開催されました。

藤沼地区会会長より挨拶があり、昨年は入賞者数が1260名、前年比106%で全国税協の中で昨年に続き1番であることが紹介されました。次に(株)日税サービスより取り扱った収納保険料の内容の説明があり、全国では前年比99%、関税協99%、新潟県税協104%であること、また税理士VIP代理店の収納保険料比率は、全国では14%、関税協16%これに対して新潟県税協は31%であることが報告されました。

次に各県税協理事長より今年の「第25回記念全国統一キャンペーン」に取り組む方針についての説明があり、五十嵐理事長は昨年全税共創立35周年の年で例年にも増して活動を推進した結果、銅賞以上の入賞者数が15名増加となった事、

又今年も種々の施策を実施したいと説明にも自然と力が入りました。引き続き角谷全税共担当常務理事より今後の県下及び地域での活動予定、9月3日の親善ゴルフ大会、11月13日の数年ぶり復活となる親善麻雀大会等の実施予定等の報告がなされました。税協主宰の麻雀大会は他県では例が無く羨ましがられたようで報告後は割れんばかりの拍手の渦でした。

次に各提携生命保険会社の責任者からこのキャンペーンに対する推進方策について1社づつ報告がなされました。要約すると①VIP保険販売の制度を如何に下部の組織に浸透させられるか、支社長以下に意識させられるか。②税理士の協力、すなわち保険紹介カード、応援ツールの活用が如何にできるか。③クライアントに最適の保険をどう提案するか。等です。

会場を移して懇親会、田村関税協副理事長(新潟県税協顧問)のはからいで新潟県の銘酒がふるまわれました。なにぶん一番人気の為あつという間に無くなってしまい、その人気に驚き入った次第です。この席で大手全税共会長の元気なお姿をお見受けしたのですが、7月11日に急逝されこの日がお会いする最後となつてし

まいりました。紙面をお借りして心よりご冥福をお祈りいたします。

新潟県税協は今後も組合員・賛助会員の皆様のご期待に添うべく他県に負けないサービスを提供してまいります。皆様にはより一層のご協力をお願いいたします。

Z2キャンペーン年間賞創設

全税共担当常務理事 笠輪 浩

日頃より協同組合の事業活動にご協力頂き、有難うございます。深く感謝申し上げます。

さて、今年も生命保険のキャンペーンの時期がやって参りました。税理士事務所の収入源拡大と、関与先のリスクマネジメントを推進する事を目的として、貴事務所も「税理士VIP代理店」に登録してはいかがでしょうか？

保険というと、ちょっと…と思われる組合員の方々も居られることと思いますが、保険の勧誘ではなく、税理士業務の一環として顧問先のリスクマネジメントをする、と考えたら是非必要なことではないでしょうか。

また、今年からZ2キャンペーン年間賞などの賞も新たに創設し、賞品の内容も充実しましたので、ご案内申し上げます。

I 第10回 全税共Z2キャンペーン

【対象】 税理士VIP代理店

【期間】 平成22年7月1日～12月31日

【入賞基準及び賞品】

①ドリームA賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が50万円以上

賞品…10万円分のギフトカード

②ドリームB賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が30万円以上

賞品…5万円分のギフトカード

II 第5回 新潟県税協Z2キャンペーン

【対象】 税理士VIP代理店

【期間】 平成22年7月1日～12月31日

【入賞基準及び賞品】

①ときめき賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が100万円以上

賞品…20万円分のギフトカード

②朱鷺A賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が50万円以上

賞品…10万円分のギフトカード

③朱鷺B賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が30万円以上

賞品…5万円分のギフトカード

III 第1回新潟県税協Z2キャンペーン年間賞

【対象】 税理士VIP代理店

【期間】 平成22年4月1日～平成23年3月31日

【入賞基準及び賞品】

①金・こしひかり賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が250万円以上

賞品…20万円分のギフトカード

②銀・こしじわせ賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が200万円以上

賞品…15万円分のギフトカード

③銅・こしいぶき賞

期間中に成立した契約の初回月額保険料の合計額が150万円以上

賞品…10万円分のギフトカード

※1 営業職員との共同募集形態の場合は、原則として半額を計上する。

2 VIPの年払契約・半年払契約の保険料は1ヶ月分(12分の1.6分の1)を計上する。

3 全税共年金の一括払の保険料は、100分の1を計上する。

4 他契約(全税共扱い以外の契約)からの変更も挙績の対象とする。

5 全税共Z2キャンペーンと新潟県税協Z2キャンペーンと重複して受賞することができる。

地域長を経験して

高田地域長 横田 晃一

協同組合の総代になって4年、業務推進委員を2年、そして地域長となつてはや1年を過ぎ、2年目の活動を行っています。我が高田地域は、組合員数が61名(H22.3.31現在)おり、その中から、総代が6名選出されています。そのほかから、地域長が1名、理事が2名選出されています。

私は地域長を経験してまだ1年ちょっとですが、まず一番に感じたことは、やはり保険関連の会議等が多いことです。地域長といってもキャンペーンのお手伝い程度しかできませんが、なかなか大変な業務だと思います。しかし、どうして保険関連の業務を行わなければならないのかもわかってきました。

協同組合の事業費用及び一般管理費の合計は8千万強です。その支出を支えているのが、各種保険手数料なのです。事業収入に占める保険関連手数料は6割を超えています。この収入の

おかげで、協同組合としての賦課金を徴収することなく、その各種事業を運営することが出来ているようです。逆に保険関連収入がなければ、賦課金の徴収を行うか、そうでなければ協同組合の運営は非常に難しいものになりそうです。

このように、協同組合にとって保険関連業務は非常に重要な業務ということになるのですが、その重要性が全組合員に周知されているかというと、そうでもないような気がします。かくいう私も総代のときは、年1回総代会に出席し、何となく議案書の承認を行い、電車で静かに盛り上がり帰ってくる、という具合でした。地域長として、もっと組合員に協同組合の実情を周知すべきだと痛感しております。これは残りの任期で行っていきたいと思います。

今後も協同組合の活動に、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

AIGスター生命は、 全税共VIP大型総合保障制度を通じて、 “第25回記念全国統一キャンペーン”の お手伝いをさせていただきます。



- | |
|--|
| 関越北営業支社
新潟市中央区万代4-4-8 コズミック2ビル 5F
TEL 025-241-1743
新潟エージェンシーオフィス
新潟市中央区万代4-4-8 コズミック2ビル 5F
TEL 025-241-1724
長岡エージェンシーオフィス
長岡市城内町3-8-5 3F
TEL 0258-32-0395
柏崎サテライトオフィス
柏崎市駅前1-4-26 柏崎駅前ビル 3F
TEL 0257-23-6785
村上エージェンシーオフィス
村上市田端町9-33 百武ビル 3F
TEL 0254-53-2073
上越営業所
上越市本町6-1-19
TEL 025-523-4323
新潟人材開発室
新潟市中央区万代4-4-8 コズミック2ビル 5F
TEL 025-241-1734 |
|--|

成長する企業に成長する“安心”を AIGスター生命が、あなたのチカラになります。

